

目次

第 1 講	文の成り立ち	2
第 2 講	文構造	14
第 3 講	時制(1)	24
第 4 講	時制(2)	34
第 5 講	助動詞	44
第 6 講	受動態	54
第 7 講	不定詞(1)	64
第 8 講	不定詞(2)	74
第 9 講	不定詞(3)	82
第 10 講	不定詞(4)	90
第 11 講	分詞(1)	100
第 12 講	分詞(2)	110
第 13 講	動名詞	118
第 14 講	接続詞	128
チェックテスト	解答	140

第5講 >>> 助動詞

1 助動詞の種類(1)

>> 基礎学習

基本的な助動詞の種類と意味をしっかりとらえましょう。

1 Tom **can't** be absent from school today.

(トムが今日、学校を休んでいるはずがありません。)

2 It **may** rain this afternoon.

(今日の午後、雨が降るかもしれません。)

3 The old woman **must** be over seventy.

(その老婦人は70歳を超えているにちがいありません。)

• words •

- be absent from ~
「~を欠席している」
- over ~ 「~を超える、~以上」

助動詞とは

• 動詞の前に置かれ、動詞にさまざまな意味を加える語(句)を助動詞と言います。助動詞は主語によって形が変化することはなく、原則として次の語順になります。

肯定文：主語 + 助動詞 + 動詞の原形(原形不定詞)～

否定文：主語 + 助動詞 + not + 動詞の原形～

疑問文：助動詞 + 主語 + 動詞の原形～?

助動詞の種類と意味(1)

① **can**(過去形は **could**)

(1) ~できる[可能・能力] = be able to ~ (2) ~してもよい[許可] = may

(3) (否定文で)~の**はずがない**[推量] >> 例文1 (疑問文で)いっ**たい**～**だろう**か(4) (Can you ~? で)~**してくれませんか**[依頼]

※ could を用いるとより丁寧な表現になります。

② **may**(過去形は **might**)(1) ~**してもよい**[許可] = can ※ might を用いるとより丁寧な表現になります。(2) ~**かもしれない**[推量] >> 例文2③ **must**(1) ~**しなければならない**[必要・義務] = have[has] to ~(2) ~**にちがいない**[推量] >> 例文3(3) (否定文で)~**してはいけない**[禁止] = Don't ~.

* (1)の意味の疑問文に対する答え方には注意しましょう。

(例) Must I finish the work today? (今日その仕事を終えなければなりませんか。)

— Yes, you must. / No, you **don't have to**(need not).

(はい、そうです。/いいえ、その必要はありません。)

No, you must not. では、「禁止」の意味になってしまい、答えとして合いません。

チェックテスト

次の()内から適する語を選び、その記号を○で囲みなさい。

- (ア. May イ. Can) you tell me the way to the post office?
- He never tells a lie, so he (ア. must イ. can) be honest.
- (ア. Can イ. Must ウ. May) I read this book? — No, you don't have to.
- His story (ア. may イ. must ウ. can't) sound strange, but it is true.

2 助動詞の種類(2)

基礎学習 can, may, must 以外にどのような助動詞があるかを覚えましょう。

1 I **would** often go fishing in the river with my friends.

(私はよく友達と川へ釣りに行ったものです。)

2 We **should**[**ought to**] help each other.

(私たちはお互いに助け合うべきです。)

3 There **used to** be a bookstore here.

(以前はここに本屋がありました。)

• words •

- go fishing 「釣りに行く」
- each other 「お互い」

助動詞の種類と意味(2)

- ① **need**(動詞として用いられることが多く、助動詞としては否定文・疑問文のみ)
～する必要がある(例の=は動詞としての用法)
(例) You **need not** come home early today.
= don't need to (あなたは今日、早く帰宅する必要はありません。)
- ② **dare**(動詞として用いられることが多く、助動詞としては否定文・疑問文のみ)
あえて～する、～する勇気がある(例の=は動詞としての用法)
(例) **Dare** Mike climb up this tree?
= Does Mike dare to (マイクはこの木に登る勇気があるでしょうか。)
- ③ **would**(will の過去形以外に次の用法があります)
 - (1) 丁寧な表現 **would like to** ~, **Would you** ~?
 - (2) よく～したものだ[過去の習慣] ➤ 例文1
 - (3) どうしても～しようとした[過去の強い意志]
- ④ **should**(shall の過去形以外に次の用法があります)
 - (1) ~すべきである[義務] = ought to ~ ➤ 例文2
 - (2) 〈It is + 形容詞(natural, right, necessary など) + that ~.〉の that 節中で用いる。
- ⑤ **ought to**
 - (1) ~すべきである[義務] = should
 - (2) ~するのが当然だ[当然]※否定文は ought not to ~, 疑問文は Ought + 主語 + to ~?
- ⑥ **used to**
 - (1) 以前は～だった[過去の状態] ➤ 例文3
 - (2) よく～したものだ[過去の習慣]※否定文は did not use(d) to ~, 疑問文は Did + 主語 + use(d) to ~?

* would とよく比較されます。

どちらも「過去の習慣」を表しますが、would はしばしば頻度を表す副詞を伴います。また、would には「過去の状態」を表す用法はありません。

チェックテスト

次の()内から適する語(句)を選び、その記号を○で囲みなさい。

- (1) You need not (ア. get イ. to get) up early tomorrow.
- (2) (ア. Should イ. Would) you please pass me the salt?
- (3) You (ア. ought イ. should) to come home before it gets dark.
- (4) I (ア. would イ. used) to play soccer with my friends when I was a child.

3 助動詞＋完了形など

基礎学習 助動詞のあとに完了形が続くときの意味を覚えましょう。

1 I **may have left** my umbrella in the train.

(私は傘を電車で置き忘れたかもしれません。)

2 I **do think** that he is right.

(私は本当に彼は正しいと思います。)

words

- left < leave 「置き忘れる」の過去分詞
- right 「正しい」

助動詞＋完了形

• 助動詞のあとは通常、動詞の原形が続きますが、〈**have+過去分詞**〉の完了形が続くことがあります。過去のことにについて述べるときに用いられます。助動詞によって意味が異なるので、しっかり覚えましょう。

- ① **cannot** + have + 過去分詞：～したはずがない
- ② **may** + have + 過去分詞：～したかもしれない ▶ 例文1
- ③ **must** + have + 過去分詞：～したにちがいない
- ④ **should** + have + 過去分詞：～すべきだったのに(実際はしなかった)

助動詞としての do

• 一般的に、do は「する」という意味の動詞として知られていますが、do には助動詞としての働きもあります。ただし、can や may といった助動詞とは異なり、それ自体に意味があるわけではありません。働きは次の2点です。

- ① 疑問文・否定文を作る
- ② 動詞を強調する：**do**[**does, did**] + 動詞の原形「本当に～する」▶ 例文2

※動詞を強調するときも、考え方は疑問文や否定文を作るときと同じです。

- 主語が3人称単数で現在の文の場合→ **does** + 動詞の原形
- 過去の文の場合→ **did** + 動詞の原形

※命令文の前につけて用いることもあります。

(例) **Do be quiet.** (ぜひとも静かにしなさい。)

助動詞のまとめ

• 主な助動詞について、その否定形、同意表現をまとめておきましょう。

	意 味	否 定 形	同 意 表 現
can	～できる	can't[cannot]	be able to
may	～してもよい	may[must] not	can
	～かもしれない	may not	—
must	～しなければならない	don't have to[need not]	have[has] to
	～にちがいない	can't[cannot]	—
should	～すべきである	should not	ought to

※ must は意味によって否定形が異なります。

チェックテスト

次の英文を日本語に直しなさい。

- (1) Tom cannot have said such a thing.
- (2) It may have rained last night.
- (3) She must have heard the news from him.
- (4) We did feel sorry for him.

基本問題

解答と解説は 25 ページ

1 助動詞の位置

次の英文を、()内の語(句)を加えて書きかえなさい。

1. You speak Chinese very well. (can)
2. He writes a paper on American history. (must)
3. Nancy is absent from school. (may)
4. You are quiet in the library. (ought to)
5. You don't make fun of your friends. (must)

• words •

1. Chinese 「中国語」
2. paper (on ~) 「(~についての)論文, レポート」
4. quiet 「静かな」
5. make fun of ~ 「~をからかう」

point 助動詞を用いた文では、助動詞のあとは動詞の原形になることを忘れずに。

- ヒント**
2. もとの文の動詞は3単現のsがついているので注意すること。
 3. is は be 動詞の原形ではない。be 動詞は一般動詞とは異なり、原形と現在形では形が異なる。
 4. ought のあとの to は不定詞の to。本来は、助動詞は ought だけで、そのあとに〈to+動詞の原形〉が続くという意味。
 5. 助動詞の否定文は〈助動詞+not+動詞の原形〉となる。

2 助動詞の意味(1)

次の日本語に合うように、()内から適する語を選び、○で囲みなさい。

1. 私は若い頃、速く走ることができました。
I (can, may, could) run fast when I was young.
2. あなたに質問してもいいですか。
(Must, May, Need) I ask you a question?
3. トムは私に腹を立てているにちがいありません。
Tom (must, may, can) be angry with me.
4. 彼は若い頃、よく山に登ったものでした。
He (used, should, would) often climb mountains when he was young.
5. あなたは夜更かしをすべきではありません。
You (must, should, need) not sit up late at night.

• words •

3. be angry with ~ 「~に腹を立てている」
5. sit up 「寝ずに起きている」

point 助動詞によっては複数の意味を持つものがあるので、しっかり用法を覚えること。

- ヒント**
1. 「~できた」と過去形になっているのがポイント。
 3. must は「~しなければならない」という意味が一般的だが…。
 4. used to にも「よく~したものだ」の意味があるが、選択肢のあとに to がないので選べない。

3 助動詞の意味(2)

次の英文を日本語に直しなさい。

1. Can I use the telephone?
2. The story cannot be true.
3. It may snow this evening.
4. You need not worry about her.
5. There used to be a big tree in my schoolyard.

• words •

2. true 「本当の, 真実の」
5. schoolyard 「校庭」

point 特に can にはさまざまな意味があるので、文脈に応じて意味を見極めること。

- ヒント**
1. can を may に変えても意味は同じ。can のほうが may よりも口語的。
 2. can の否定形である cannot だが、「～できない」では意味が通らない。
 3. may の主な意味は「～してもよい」と「～かもしれない」。
 5. この文は〈There is + 主語 + 場所を表す語句～.〉に助動詞の used to が用いられたもの。主語が a big tree で「物」であることに注目。「よく～したものだ」という過去の習慣を表すならば、主語に「人」がくるのが自然。

4 助動詞の同意表現

次の各組がほぼ同じ内容になるように、() に適する語を入れなさい。

1. He can skate very well.
He () () () skate very well.
2. Mary must wash the dishes after dinner.
Mary () () wash the dishes after dinner.
3. You must not touch this vase.
() () this vase.
4. You should respect your parents.
You () () () your parents.
5. You need not answer the question.
You () () () () the question.

• words •

1. skate 「スケートをする」
3. vase 「花瓶」
4. respect 「尊敬する」
(反意語は despise 「軽蔑する」)

point 同じ助動詞でも意味が異なれば同意表現も異なるので、必ず意味と同意表現はセットで覚えること。

- ヒント**
1. この can は「～できる」という意味。
 2. この must は「～しなければならない」という意味。主語が3人称単数の Mary であることに注目。
 3. must not は「～してはいけない」と禁止を表す表現。
 4. should は「～すべきである」。
 5. need not は「～する必要はない」。

5 適語補充

次の日本語に合うように、()に適する語を入れなさい。

1. 彼女はその知らせに驚いているにちがひありません。
She () () surprised at the news.
2. メイには本当のことを言う勇気がありません。
May () () () the truth.
3. いつかヨーロッパを訪れてみたいものです。
I () () () () Europe some day.
4. 私は眼鏡をなくしたかもしれません。
I () () () my eyeglasses.
5. 彼は本当に1日でその仕事を終わりました。
He () () the work in a day.

• words •

1. be surprised at ~「～に驚く」
2. truth 「真実」
3. Europe 「ヨーロッパ」
some day 「いつか」
4. eyeglass(es) 「眼鏡」
(レンズが2枚なので複数形で用いる)

point <助動詞+完了形>や助動詞としての do の意味をしっかりと確認しよう。

ヒント

1. 助動詞のあとは動詞の原形が続く。
2. 助動詞を用いた文の否定文の語順は<助動詞+not+動詞の原形>。
3. want to ~ (~したい) よりも丁寧な表現。ある動詞の過去形を用いる。
4. <助動詞+完了形(have+過去分詞)>は過去の事柄を表すときに用いる。「～かもしれない」は may だから…?
5. 動詞の形で時制を表すが、動詞を強調する場合は助動詞の do で時制を表し、そのあとの動詞は原形のままにする。

6 語順整序

次の語(句)を意味が通るように並べかえなさい。

1. You (this / use / computer / may).
2. We (our / understand / should / culture / own).
3. I (take / to / with / a walk / my mother / used) in the morning.
4. Tom (well / could / sleep / not) last night.
5. You (cook / have / dinner / don't / to) this evening.
6. (the way / tell / you / me / to / would / the museum / ?)

• words •

2. own 「自分自身の」
culture 「文化」
6. museum 「博物館, 美術館」

point 助動詞が用いられた文の語順を確認しよう。

ヒント

- 1・2. 肯定文の場合は<主語+助動詞+動詞の原形~.>となる。
3. ほとんどの助動詞はあとに動詞の原形が続くが、「よく～したものだ」は used のあとに…?
4. 否定文は<主語+助動詞+not+動詞の原形~.>となる。
6. 疑問文は助動詞が文頭に出る。

1 次の各組の意味の違いに注意して、日本文に合うように()に適する語を入れなさい。

(1) ① 私は昨日、友達とプールで泳ぎました。

I () () the pool with my friends yesterday.

② 私は川を泳いで渡ることができました。

I () () () () across the river.

(2) ① メアリーは毎日、台所で母の手伝いをしなければなりません。

Mary () () her mother in the kitchen every day.

② メアリーは昨夜、弟の宿題を手伝わなければなりませんでした。

Mary () () () her brother () his homework last night.

(3) ① 授業中は日本語を話してはいけません。

You () () Japanese in class.

② ここでは英語を話す必要はありません。

You () () () () English here.

2 次の各組がほぼ同じ内容になるように、()に適する語を入れなさい。

(1) Can she play the guitar?

() () () () play the guitar?

(2) You shouldn't be late for school.

You () () () () late for school.

(3) Try to understand him.

() () () to understand him.

(4) My cousin is a very good singer.

My cousin () () very ().

(5) Mike doesn't have to attend the meeting.

Mike () () () the meeting.

3 次の英文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

(1) The baby can walk. (soon を加えて未来の文に)

(2) He must be sick in bed. (反対の意味を表す文に)

(3) Must she come home by seven today? (下線部を yesterday にかえて)

4 次の疑問文に対する答えとして適当なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- | | |
|---|-----|
| (1) Must Jim stay at home this evening? | () |
| (2) Would you like something hot to drink? | () |
| (3) May I smoke in this room? | () |
| (4) Could you show me the picture of your family? | () |

- | | |
|---------------------|------------------------|
| ア. Yes, please. | イ. Yes, I can. |
| ウ. No, he must not. | エ. Sure. Here you are. |
| オ. No, he need not. | カ. No, you must not. |

5 次の日本語に合うように、()内の語に1語加えて並べかえなさい。

(1) 健太はどうしても私の意見に賛成しようとはしませんでした。
(not / with / Kenta / me / agree / .)

(2) 本当に父がその魚を捕まえたんです。
(the / catch / father / fish / my / .)

(3) 彼らは始発電車に乗り遅れたかもしれません。
(train / may / the / they / missed / first / .)

(4) 母はよく私たちにクッキーを作ってくれました。
(cookies / us / to / my / make / mother / for / .)

(5) あなたはトムに助けを求めるべきだったのに。
(help / asked / you / Tom / have / for / .)

(6) あなたにはあの男性に話しかける勇気がありますか。
(man / speak / you / that / to / ?)

1 次の英文を読んで、下の各問いに答えなさい。

My name is Abdur. I'm a college student in Japan. When I first came to Japan several years ago,
 ① (to / Japanese / I / had / must / learn). Through studying Japanese, I made a lot of Japanese friends.

My country is a young country. Most people work on farms. There are still a lot of people who ② can't
 read or write. I think ③ this is a serious problem for my country.

5 I grew up in a small village near a river. When I was a young boy, my family was (④). My
 parents worked hard on the farm all day. My brothers and sisters also stayed at home to work. In my
 family, ⑤ I was the only child that could study at school. I came home after school and worked with my
 family. At night, I was the teacher for my brothers and sisters.

In my country, the children should go to primary school for five years. ⑥ Their parents ()
 10 () () () any money for primary school. But many children don't study at school for
 five years. They leave school to work. There are not many children who can go to secondary school,
 because much money is needed.

(1) ①の()内の語を、意味の通るように並べかえなさい。ただし、不要な1語があります。

(2) 下線部②とほぼ同じ表現を、3語で書きなさい。

(3) 下線部③が表す内容を日本語で説明しなさい。

(4) (④)にあてはまる形容詞を次から選び、記号で答えなさい。 ()

ア. happy イ. rich ウ. poor エ. difficult

(5) 下線部⑤を和訳しなさい。

(6) 下線部⑥が「彼らの両親は小学校に一銭も払う必要はありません。」という意味になるように、()に適す
 る語を入れなさい。

• words • several 「いくつかの」 serious 「深刻な」

primary school 「小学校」 secondary school 「中学校」

☞ ヒント

(1) 「～しなければならなかった」という文にする。

(3) 前に述べられた内容を受けている。

(4) あとで述べられている Abdur の家の状況から判断する。

(5) 助動詞 could の意味がポイント。また、that 以下は直前の child を説明している。

2 次の英文は、ある男子中学生の日記の一部です。これを読んで、下の各問いに答えなさい。

I'm having a seriously hard time getting used to the fact that summer is over and I ① (to go / to get / have / school / bed / out / to / of) every morning. My summer did not get off to a great start, thanks to my older brother Rodrick.

A couple of days into summer vacation, Rodrick woke me up in the middle of the night. He told me I 5 slept through the whole summer, but that luckily I woke up just in time for the first day of school.

You might think I was pretty dumb for falling for that one, but Rodrick was dressed up in his school clothes and ② he'd set my alarm clock ahead ③ to make it look like it was the morning. Plus, he closed my curtains so that I (④) see it was still dark outside.

After Rodrick woke me up, I just got dressed and went downstairs to make some breakfast, like I do 10 every morning on a school day.

But ⑤ I guess I must have made a pretty big noise because Dad came downstairs and yelled at me for eating cereal at 3:00 in the morning. It took me a minute to figure out what was going on.

After I ⑥ did, I told Dad that Rodrick had played a trick on me, and HE was the one that should be getting screamed at.

(1) ①の()内の語(句)を、意味の通るように並べかえなさい。

(2) 下線部②は何の短縮形か答えなさい。

he _____

(3) 下線部③について、実際の時刻を日本語で答えなさい。

[_____]

(4) (④)にあてはまる語を次から選び、記号で答えなさい。

(_____)

ア. can イ. might ウ. won't エ. couldn't

(5) 下線部⑤を和訳しなさい。

(6) 下線部⑥の内容を日本語で表しなさい。

(7) 「私」をだますために Rodrick がしたことを、「学校の制服を着た。」以外に2つ書きなさい。

_____ / _____

• words • have a hard time ~ing 「～するのに苦労する」 get used to ~ 「～に慣れる」 fact that ~ 「～という事実」 get off to a great start 「順調なスタートを切る」 dumb 「ばかな」 fall for ~ 「～にだまされる」 set a clock ahead 「時計を進める」 make it look like ~ 「～に見せかける」 yell at ~ 「～にどなる」 cereal 「シリアル(穀類加工食品)」 figure out 「理解する」 get screamed at 「どなられる」

ヒント

- (1) 「…するために～しなければならない」という文。
- (4) <so that S can[may, will] ~>で「Sが～できるように、～するために」の意味を表す。
- (5) <must have + 過去分詞>の文。
- (6) この did は代動詞で、前に出てきた一般動詞(過去)の動詞句の代わりをする。